

〔二〇一四年度卒業論文題目〕

- 井田 もも 三重県の出土円硯
越後 麻紀 加賀藩による能登国幕領「預地」村々の支配について
近藤 早記 長屋王家木簡からみる邸宅の家政機関
兒玉 典子 律令制下における不破関の構造
鈴木明日香 江戸の稻荷信仰
辻田 真穂 女子埴輪の所作―所作の造形とその意味について―
徳武 誠也 近世後期の熊野灘における「不正難船」の実態
―尾鷲組須賀利浦の事例を中心に―
中島 雅斗 北伊勢の在地領主と長島一向一揆
前田 有紀 紀州藩田辺領の年中行事の特質
松場 春菜 近世社会の広域的犯罪と治安維持体制
―紀州藩領の「盗み」を事例に―
丸山 優香 伊勢国の瓦塔
宮崎 奈江 日本における切腹の定着について
―軍記物語を中心に―
八木 優子 熱田縁起に見られる中世神話の役割と影響
山田 美都 元三大師信仰の実態に関する一考察
和気 彩那 和気清麻呂の霊猪伝説における一考察
- 〔二〇一四年度修士論文題目〕
濱村 友美 古式土師器からみる三世紀前後の地域間交流―近江・
伊賀地域を中心として―
脇田 大輔 伊勢齋宮形成過程に関する一考察―八世紀から九世紀
の伊勢齋宮―

〔編集後記〕

『三重大史学』第一五号をお届けいたします。考古学の山中章先生が退職され、小澤毅先生を迎えて始まった本年度でしたが、この一年間はさまざまなことがあり、なんとか卒業生を送り出すことができましたといった感じです。巷では大学において人文系学問は不要であるとの議論がなされ、四月からは新学長となることもあり、今後考古学・日本史研究室、さらには人文学部はどうなっていくのか、先の見えないところもあります。卒業生の皆さんの各方面での活躍を祈念してまいります。

(山田)

三重大史学 第一五号

二〇一五年三月三十一日発行

編集・発行 三重大学人文学部考古学・日本史研究室

〒五一四―八五〇七

三重県津市栗真町屋町一五七七

TEL: 〇五九―二三三―一二二一 (代表)

FAX: 〇五九―二三三―一九一九 (共同)

MAIL (山田雄司): yyanada@human.mie-u.ac.jp

印刷 伊藤印刷株式会社 (津市大門三二―一三)